

各 位

会 社 名 株式会社ジェイック

代表者名 代表取締役

佐藤 剛志

(コード番号:7073 東証グロース)

問 合 せ 先 取締役経営企画本部長

谷中 拓生

(TEL. 03-5282-7608)

<u>(訂正)「2023 年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」</u> の一部訂正について

当社は、2022年12月15日15時に発表した表記開示資料について訂正がありましたので、以下のとおりお知らせいたします。なお、数値データについては、訂正はありません。

1. 訂正の理由

「2023 年1月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)」の記載に一部誤りがありましたので訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正箇所については、下線_を付して表示しています。

<添付資料>3ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間の業績は、202<u>1</u>年3月15日の「202<u>1</u>年1月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想で計画しております当第3四半期連結累計期間の業績を上回る進捗となりましたが、未だに先行き不透明の状況が続くこと<u>を想定し、現時点で</u>は通期の連結業績予想を据え置きといたします。

連結業績予想における新型コロナウイルス感染症の影響については、2022年1月期においても当該影響が続くものの、夏以降は緩やかに求人需要が回復するものと仮定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況等により、当社の業績が大きな影響を受け、通期の連結業績予想について修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間の業績は2022年3月15日の「2022年1月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想で計画しております当第3四半期連結累計期間の業績を上回る進捗となりましたが、未だに先行き不透明の状況が続くことに加え、株式取得により株式会社キャンパスサポート及び株式会社アワードを連結子会社化したことによる連結業績に与える影響は現在精査中であるため、変更はございません。今後、開示すべき事象が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上